

日本一の安全・安心なまちを目指して ~ICT(情報通信技術)×人の力~

市内全域で設置を進めている「見守りカメラ」は、ICT(情報通信技術)を駆使したシステムです。「見守りタグ」の検知器を内蔵し、通学・外出時の子どもや高齢者の安全を守り、市民の安心な暮らしをサポートします。また、通学路での見守り活動や声掛け運動など、皆さんの協力が加わることで、より良いまちづくりが実現します。一緒に日本一安全・安心なまちを目指しませんか。



※見守りカメラの設置場所は、加古川市電子地図サービス「かこナビ」で確認できます。

市では、平成29年10月から「見守りカメラ」の設置を進めています。今年3月中には全28小学校区に1475台の設置が完了し、市が保有する台数としては全国最多となります。カメラには民間企業と共同で開発した「見守りタグ検知器」を内蔵。小型発信器「見守りタグ」を持つ子どもや高齢者などがカメラの近くを通ると、「見守りサービス」の機能により、保護者や家族にアプリやメールで位置情報が届きます。また、カメラに加え、市の公用車や公共施設、郵便局のバイクや配達車両にも検知器を設置し、検知ポイントの拡大に努めています。市公式アプリ「かこがわアプリ」の見守り機能とも連携しており、皆さんのスマートフォンも検知器になるため、持ち歩くだけで見守り活動に参加できます。

マンガで解説!

安全・安心のまちづくり



見守りサービスを利用するには

事業者は2つから選べます。チラシや申込書から各事業者の申込方法を確認の上、直接申し込んでください。

※チラシ・申込書は生活安全課、高齢者・地域福祉課、各市民センター、東加古川市民総合サービスプラザで配布しています。チラシは市ホームページでもダウンロードできます。

申し込みはこちらから



かがわ アプリで簡単! 見守り活動



かがわアプリは「見守り機能」をONにすることで「見守りタグ」の検知が可能となり、誰もが「見守りサービス」のボランティアとして活動することができます。インストールとユーザー登録を行い、地域の子どもや高齢者を一緒に見守りましょう。

※タグを検知すると、データ通信を行います。通信料は利用者負担になります。

3つの手順

1 かがわアプリをインストール

●iPhoneの場合

AppStoreから「かがわアプリ」を検索するかQRコードを読み取ってインストール



●Androidの場合

PlayStoreから「かがわアプリ」を検索するかQRコードを読み取ってインストール



見守り機能を利用するためにもう2ステップ!

インストールができたならアプリを開く

2 ユーザー登録

ユーザー登録を行い、アプリの見守り機能をONにすることで、あなたも見守りボランティアに。まちを思う一人一人の心が、「安全・安心日本一」を実現します。

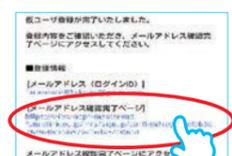
新規登録

アプリ画面右上の設定画面から「ログイン」をタップ。画面下側に出てくる「新規登録はこちら」をタップし、メールアドレスを登録。



メール確認

登録したメールアドレス宛にメールが届いたら、記載されたURLをタップ。



ユーザー情報登録

アプリを開き、ログイン。ユーザー情報を登録し、登録完了です。



3 見守り機能を“ON”

「見守り」のアイコンをタップし、アイコンが明るいピンク色になれば完了。

※見守り機能を利用する場合は「Bluetooth」と「位置情報サービス」をONにしてください。



※迷惑メール対策の設定をしている場合は、新規登録時のメールが届きません。no-reply@api.opendata-api-kakogawa.jpからのメールを受信できるように設定し、2時間後に再度新規登録を行ってください。

ICTだけじゃない! 人の思いが力になる

安全・安心日本一のまちづくりを一番に支えるものは「人の力」。安心して住み続けるための一人一人の行動や力があるからこそ、ICTは力を発揮できるのです。

地域 見守り活動 の力



加古川町
元井 輝夫さん

見守り活動から まちの安全を願っています

登校時の見守りを始め、今年で11年になります。毎朝子どもたちとあいさつを交わし、元気をもたらしています。毎日顔を合わせると子どもの様子が分かるため、学校との連携も大切にしています。子どもの安全と元気を願うこの活動は、私のライフワーク。これからも地域の安全を守ってまいります。



アプリで 見守る力



上荘町
高橋 壽さん
榮子さん

毎日の健康づくりが ボランティア活動に

アプリで見守り活動ができることを知り、「人の役に立てるなら」とインストールしました。毎日、見守り機能をONにしてからウォーキングをしています。足腰を鍛え、認知症を予防し、その上社会貢献ができる。まさに一石三鳥! 安全・安心の輪を広げたいと、今では知人にも勧めています。



るよう、約1500台の見守りカメラの設置を進めてきました。安全で安心な生活の実現には、こうした見守りカメラや見守りサービス、かがわアプリなどのICTに加え、通学路における見守り活動など皆さんの協力が不可欠です。現在、さまざまな形で関わってくださいているすべての皆さんに感謝申し上げます。ともに、これからも人でも多くの方と手を取り合い、安全・安心のまちづくりを進めてまいります。



加古川市長
岡田 康裕

「住み続けたいまち加古川」を一緒に作りましょう。

こんなケースで役立ちました

見守りカメラの効果

皆さんと共に地域の安全を見守る防犯カメラ。犯罪の抑止効果は大きく、平成30年11月の人口千人当たりの刑法犯認知件数が設置後初めて兵庫県全体を下回りました。事件や事故が発生した際に、警察などの捜査機関から画像データの提供申請があった場合には、条例に定められた手続きにより適切に審査し、提供しています。運用開始から約1年間で提供件数は430件。事件や事故の早期解決にも役立っています。

- 車上狙いの被疑者逮捕
- ひき逃げの被疑車両を特定し、被疑者逮捕
- 女子児童への声掛け事案の検挙
- 児童から届け出のあった不審者を特定・検挙

▶ 問い合わせ/見守りカメラ・見守りサービス…生活安全課 ☎427・9760
かがわアプリ…情報政策課 ☎427・9127